

白岡ニュータウン自治会

創立

30

平成元年～平成30年

1989-2018

周年記念誌

スローガン

せだい こえ きもち つながる ふるさと へ
世代超え 気持ち繋がる ふるさとへ



スローガン

せだい こえ きもち つながる ふるさと へ
世代超え 気持ち繋がる ふるさとへ

目次

挨拶	自治会長	1
祝辞	白岡市長	2
特別寄稿	総合地所	3

第1章 30年の歩み

第一部	写真で見る変化	4
第二部	そのとき私は	16

第2章 いま白岡ニュータウンで！～活動紹介～

	白岡ニュータウン自主防災会	21
	新白岡悠友会	22
	花と緑の会	23
	ニュータウンアカデミー	24

第3章 繋がる絆

第一部	街を想い期待する ～先輩からひとこと～	26
第二部	次世代を担う人たち ～白岡ニュータウンと共に～	29
第三部	未来へ繋ぐ絆 ～僕の夢・私の夢～	32

第4章 資料

第一部	自治会・自主防災会 歴代会長・副会長	34
第二部	白岡ニュータウンの歩み	36
第三部	数字にみる新白岡	38

むすび	自治会創立30周年に寄せて	40
編集後記		40

挨拶

第8代 自治会長 浅井 嘉一



白岡東小学校にて小島 卓市長、近隣行政区長の皆様、歴代の自治会長、多くの皆様のご臨席を賜り、自治会創立30周年「記念式典」を開催できますことは、この上ない喜びであります。

平成30年(2018年)、市の人口52,000人余、うち白岡ニュータウンは、約4,500人、戸数1,500世帯に及ぶ大きな街に発展することができました。昭和62年(1987年)JR新白岡駅の開業と共に入居がはじまり、平成元年(1989年)、自治会が創立されました。以来30年間には白岡東小学校の開校、新白岡駅周辺の住宅開発、自治会の組織充実と日常活動、今日に至る地域の発展は先輩諸氏のご努力の賜物なのです。平成8年(1996年)この地域で、いち早く自主防災会発足、5月には防災訓練を実施、平成26年(2014年)、白岡ニュータウン自主防災会は自治会から独立、独自の活動を展開しています。

平成13年(2001年)テレビの自主放送網(CATV)整備と放送開始、急を要する重要な広報には、欠かすことのできない手段としてご承知のとおりです。平成24年(2012年)10月、人口5万人、県内40番目の市制が施行されました。しかし少子高

齢化の波は、我が白岡ニュータウンにも及びつつあります。自主防災会や、民生・児童委員の皆様による、在宅高齢者の把握、災害時を想定した避難誘導等、助け合いに新しい動きを見ることができます。白岡ニュータウン自主防災会独自の調査によりますと、

- *非常時の避難等で「是非、人の手を借りたい」と願うご家庭が(26組30人)
- *その方々に対して「私が手助けしよう」と率先して立ち上がった方(353人)

“向こう三軒両隣り…”助けあいの精神と、地域共同体として住民同士の“絆”、その証が見え、実に嬉しいことで、白岡ニュータウンは災害にも強い街でありたいと願うばかりです。

白岡ニュータウン内の住宅建設もほぼ終盤でしょう。私たちはいつまでも住みたい街、安心して暮らせる街を目指して、今後とも自治会活動を展開していくつもりです。「住民による住民のための自治会でありたい」と、常日ごろから心に念じております。30周年を機に皆様方のお力添えを更にお願ひし日常活動を続けたいと思います。皆様の益々のご発展、ご健康とご多幸を心からお祈りいたします。

祝 辞



白岡市長 小島 卓

白岡ニュータウン自治会創立30周年、誠におめでとうございます。市を代表して祝意を表するとともに、創立から今日まで活動を支えてこられた歴代の会長をはじめとする関係者の皆様に心から敬意を表する次第でございます。

白岡ニュータウン自治会におかれましては、各種イベントの開催や地域のパトロール、自主防災活動、景観維持のための活動など、住みよいまちづくりのために欠かせない活動に日頃から取り組んでいただいておりますことに深く感謝を申し上げます。

また、高齢者等の見守りや空き家の管理など、新しい地域の課題にも率先して取り組まれ、地域の問題を自ら解決されようとする活動に対しましても、重ねてお礼を申し上げます。自治会の皆様の熱心な社会活動により、地域の活力が生み出され、また、世代間の交流が促進されていることと存じます。

これまで、環境美化や防災、防犯の業績により、環境大臣賞や埼玉県知事賞など数々の受賞歴がございますが、昨年は、統

一感のある美しい街並みやコミュニティのまとめ、活発な自治体活動が高く評価され、2017グッドデザイン賞を受賞されました。このことは誠に喜ばしく、地元市長として誇らしい思いでございます。

これからのまちづくりを進めていく上で、同じ地域に暮らしている人たちがお互いに協力し、助け合い、力を合わせて問題を解決していくという自治会の役割はますます大きくなってまいります。

市といたしましては、これからも自治会活動を積極的に支援してまいりますので、白岡ニュータウン自治会におかれましては、白岡市の先駆的なモデル自治会として、引き続き、住みよいまちづくりのために御支援・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立30周年を迎えられた白岡ニュータウン自治会がますます発展されますことを御祈念申し上げますとともに、自治会の皆様のさらなる御健勝と御活躍を御期待申し上げ、お祝いの言葉といたします。

特別寄稿

総合地所 白岡営業所 所長 藤嶋 進



白岡ニュータウン自治会創立30周年誠におめでとうございます。

皆様と共に歩ませていただいております白岡ニュータウン販売センターも31年目となりました。

この程、節目を迎える前に栄えある2017グッドデザイン賞を白岡ニュータウンが受賞できました。これもひとえに自治会員皆様の日頃の地域活動に真摯に取り組む姿勢や緑化規約の遵守による街並みの環境保全等が高く評価されたことが、出展総数4955件中から選ばれた要因でございます。

さて、高岩団地（白岡ニュータウン）は、構想時面積50ha1000戸規模のプロジェクトで始まった事業です。苦労の連続だったという開発以前の土地買取時の話です。

1975年2月煌々とした月夜に御成街道を南下、今夜は懐中電灯を使わず歩けるので有難いが北風を遮るものは無い側道をコートの手を立って向かうはいつもの下野田の旅館、帰宅できないのも今日で5日目、ここ連日通う一反八畝の地主さんは地域有力者で何としても開発にご理解頂き協力への足掛かりを付けたいと足繁く通わせていただいております。

今夜も日本酒持参で伺うが色よき返事は聞けなかった。しかし、雑談の中で聞いた

杉戸町の仲人に頭が上らない話が聞けたので、この仲人に接触して何か攻略の糸口を探る方法はないかと考える中で更にもう一つ来週末の社内会議のことも悩みとなっていた。

用地取得に乗り込み早3年が経ち未だ買取り実績4割にも届かず停滞している状況で会社から「進めるか断念か」の判断を会議で提言するように担当は求められていた。

突き進むか撤収か、曲がり角の交番を見ながら思いついた結論は、この地主さんを取込む目途が立たなければ断念し中止撤収とすると決心したそうです。

この地主さんは亡くなりましたが、生前この担当の話題になると「しつこいの何のって、すっぽんだったね」とその後、担当と他の地主の説得回りをしたことを昨日のように嬉しそうに何度も話しておりました。

高岩団地50haの地主及び周辺地主700人弱の皆々様と白岡町・県・国などの各関係者の方々の協力を得られたこととまとめた諸先輩の努力によって今の白岡ニュータウンがあることを肝に銘じ微力ではありますが、これからも自治会員皆々様及び地域の方々をサポートさせていただく所存でございます。

30年の歩み

白岡ニュータウンは、昭和59年（1984年）に造成工事を開始後、昭和62年（1987年）5月から入居開始、平成30年（2018年）現在に至るまで、32年の歳月が経ちました。

白岡ニュータウン自治会は、平成元年（1989年）1月に創立しました。

自治会創立30周年を機会に、式典やイベントを開催するとともに、記念誌を発行することで、これまでの自治会の歩みを紹介すると共に次世代に繋ぐ記録と位置づけました。

第1部 写真で見る変化

昭和52年（1977年）の「県立白岡高等学校」の開校に始まり、県水受水施設（高岩浄水場）や老人福祉センターなどの周辺整備が行われました。昭和56年（1981年）の市街化調整区域における計画開発の取り扱い方針、いわゆる“埼玉方式”が制定されると直ちに「高岩住宅団地（白岡ニュータウン）」の開発申請、昭和59年（1984年）8月に許認可を取得、同年9月に造成工事に着手し、昭和63年（1988年）3月に竣工しました。

この間に、昭和62年（1987年）の「新白岡駅」の開業、昭和63年（1988年）の

「高岩公園」の開園や「白岡勤労者体育センター」の着工など、都市整備面でも拡充が図られました。

白岡ニュータウンは、東京工業大学名誉教授の石原舜介氏の指導の下、総合地所株式会社が設計・開発を行ってきており、住民と協同で街づくりに参画してきました。平成29年（2017年）には地域コミュニティを育むデザインが評価され、グッドデザイン賞を受賞しました。

白岡ニュータウンは、3丁目の学園通りを中心に入居が開始されました。

昭和62年（1987年）5月の入居開始前



石原舜介氏が設計した街づくりデザイン（総合地所 パンフレットより）

の2月26日、国有鉄道の最後の新駅として、「新白岡駅」が開業しました。（国鉄は同年4月に民営化）また、スーパー・ヤオコー（仮店舗：現在のスギ薬局敷地内）も同時期に開店しました。

昭和63年（1988年）3月に宅地造成工事が竣工し、入居戸数は計222戸（1期入居）となり、同年12月にはクリスマスバザー・青空市が開始されています。

白岡ニュータウン自治会は、平成元年（1989年）1月に設立総会が開催され誕生しました。同年2月に、サウスプラザ（3丁目集会所）が完成、4月の第1回通常総会開催に利用されました。自治会の誕生により、様々な催しが活発化し、同年6月にはクリーン清掃運動、7月には高岩天満宮のお祭りに参加し白岡ニュータウン内を御神輿が巡幸するなど地域住民との交流が行われました。平成2年（1990年）8月、「高岩・白岡ニュータウン盆踊り大会」が開催されました。

以降、通常総会・クリーン清掃運動・夏祭り（盆踊り大会）・青空市など現在でも継続して開催されています。

平成5年（1993年）には、センタープラザ（2丁目集会所）が完成、スーパー・ヤオコー新白岡店（現敷地内）が開店、白



新白岡駅開業の様子



スーパー・ヤオコー（仮店舗）



サウスプラザ（3丁目集会所）



白岡ニュータウン 第一期販売の様子（総合地所 パンフレットより）



白岡ニュータウン全景（昭和63年頃）



シンボル塔（現在のアリス歯科付近）



高岩公園（ボードは後に撤去）



新白岡駅前



白岡東小学校（校舎完成時）

岡ニュータウン出身議員や地域の方々の協力により新たな信号機の設置など、インフラ面でも整備向上されました。

また、同年の自治会総会にて自治会の組織が形成、各部が設置されています。平成7年（1995年）に、「悠友会」の前身である「新白岡シルバー友の会」結成、白岡東小学校が開校しました。

平成8年（1996年）に防災訓練が開始され、自治会内に自主防災会が発足します。自主防災会は平成26年（2014年）に自治会から独立して、独立運営化しています。

平成9年（1997年）、これまで総合地所指導による運営をしてきた自治会が、事務手続を含む事務局を開設、以後自主管理運営しています。

平成10年（1998年）から自治会だより発行、歳末警戒パトロールが開始されています。平成13年（2001年）には、CATV

自主放送が発信され、平成16年（2004年）には、歳末だけだった防犯パトロールが毎月実施されるようになりました。

平成19年（2007年）には、ノースプラザ（1丁目集会所）の開設、平成21年（2009年）に自治会独自運営のホームページが運用を開始しました。

近年では、平成25年（2013年）に白岡市主催の総合防災訓練に参加、白岡高校において負傷者トリアージ訓練や陸上自衛隊のヘリコプターによる救援物資の支援訓練などを行いました。

白岡ニュータウン自主防災会では、白岡ニュータウン内において災害時に支援が必要な方々の把握を独自に行い、災害時に地域住民同士が助け合う仕組みや、高齢化社会への取り組みを行っています。

白岡ニュータウンは、街づくりや防災・安全活動が評価され、これまでに様々な賞を受賞しています。平成29年（2017年）には、30年間にわたる街づくりやコミュニティづくりが評価され、グッドデザイン賞を受賞しました。

主な受賞歴

- 地域防災活動に貢献：埼玉県知事賞
- 地域環境の美化に貢献：環境大臣賞
- 地域安全の活動を推進：埼玉県知事賞
- 久喜管内防犯活動に貢献：防犯協会賞
- 住みよい地域社会環境づくり：埼玉県優秀賞
- 老人クラブ活動の秀れた業績（悠友会）：全国連合会長賞
- 地域住民の福祉向上の功績（ニュータウンアカデミー）：社会福祉功労賞
- 県内防災活動（白岡ニュータウン自主防災会）：埼玉県知事賞
- 白岡ニュータウン／リフレ新白岡コミュニティガーデン街区：2017 グッドデザイン賞



第3回 総会（平成3年 サウスプラザ）



センタープラザ（2丁目集会所）

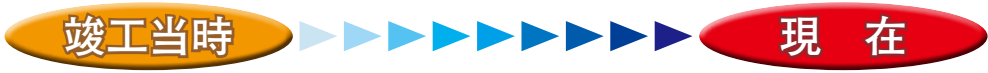


ノースプラザ（1丁目集会所）



総合防災訓練（白岡高校にて）

竣工当時と



けやき公園



さくら公園



高岩公園



駅前のウェルカムボード (アリス歯科前)



現在の比較

竣工当時



現在

白岡高校からの眺望



新白岡駅からの眺望（南側）



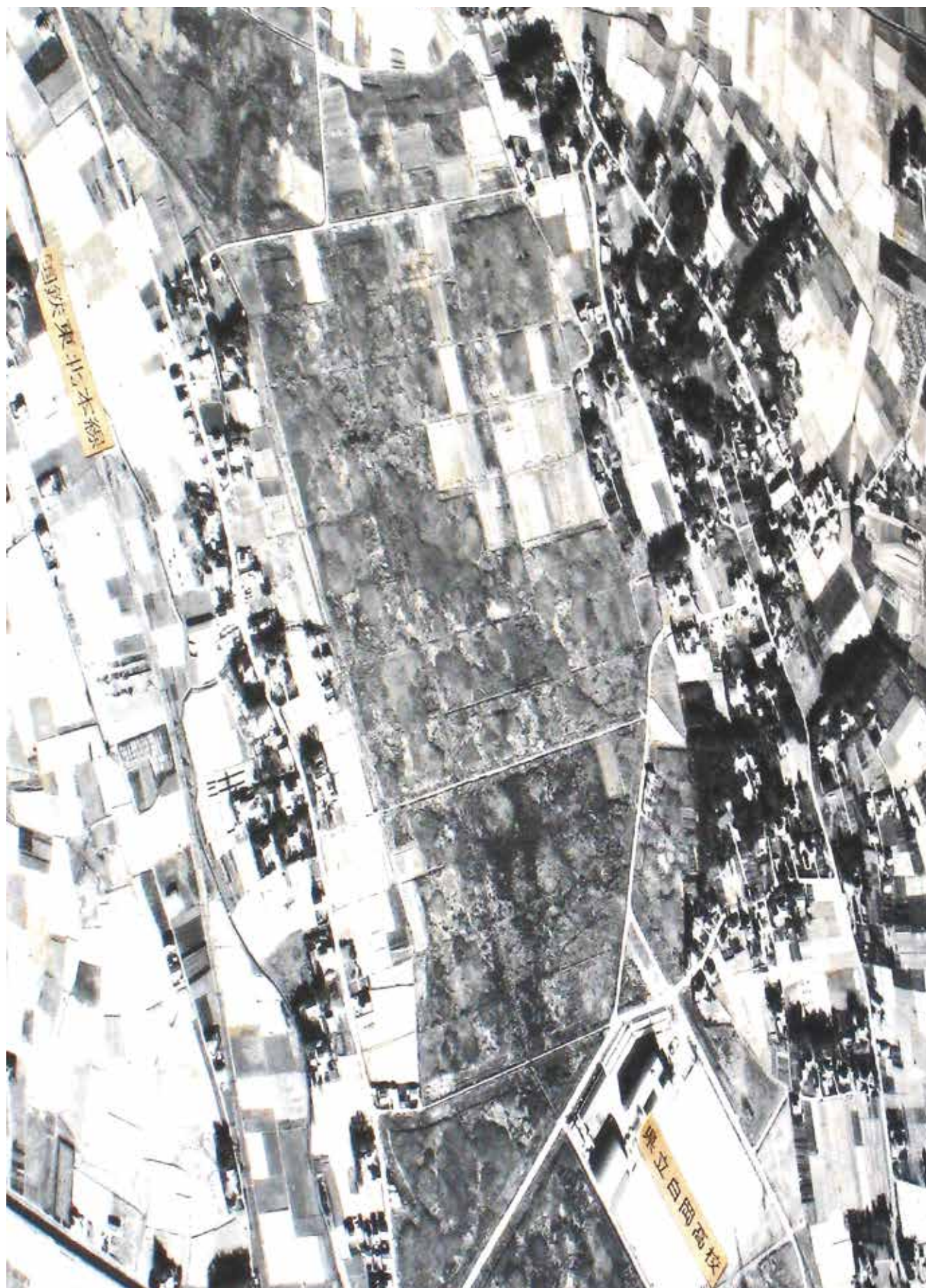
新白岡駅前（東口）



3丁目建設現場（白岡高校北・公園通り）



白岡ニュータウン航空写真（開発前）



白岡ニュータウン航空写真（平成2年：1990年）



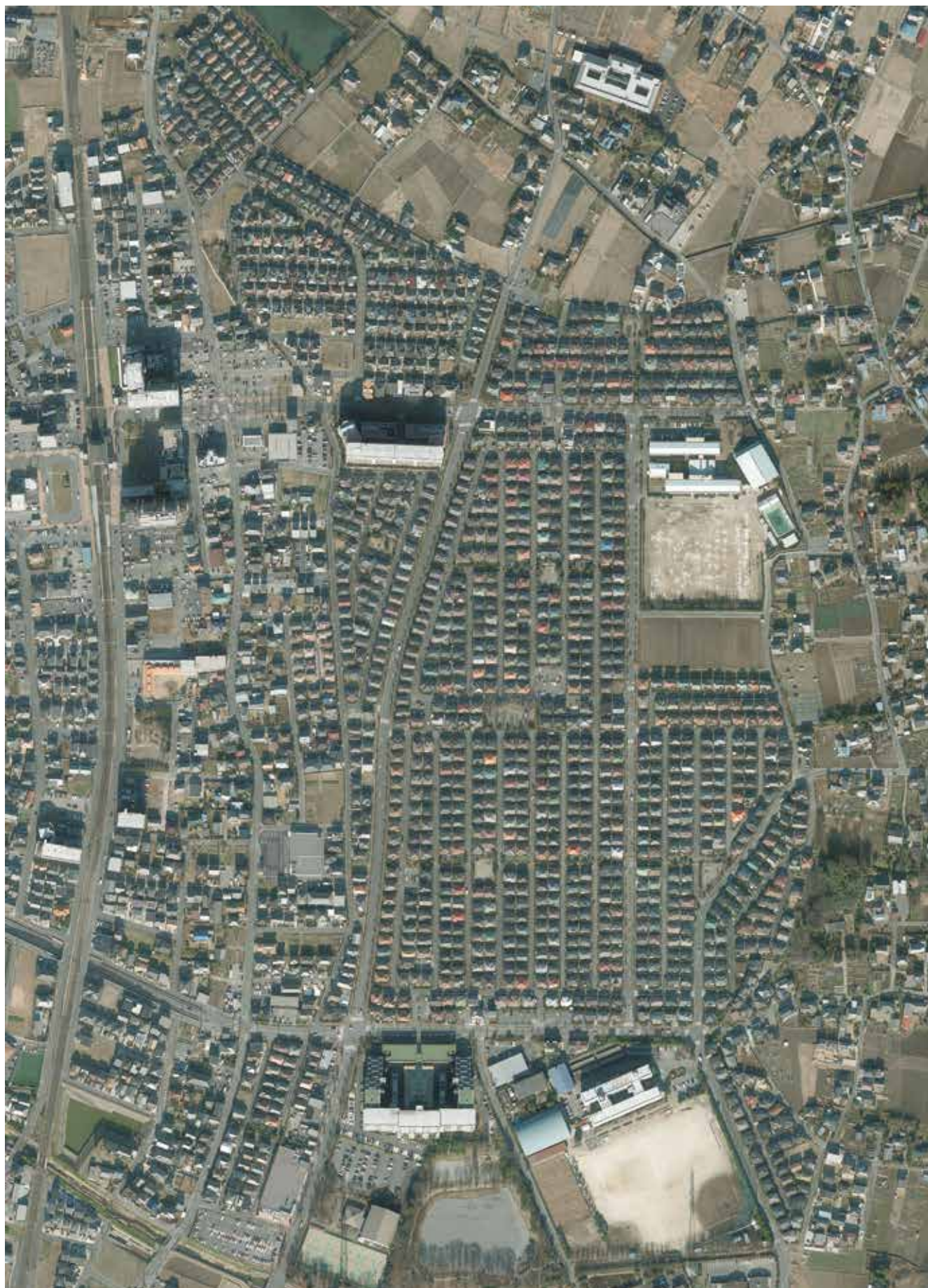
白岡ニュータウン航空写真（平成13年：2001年）



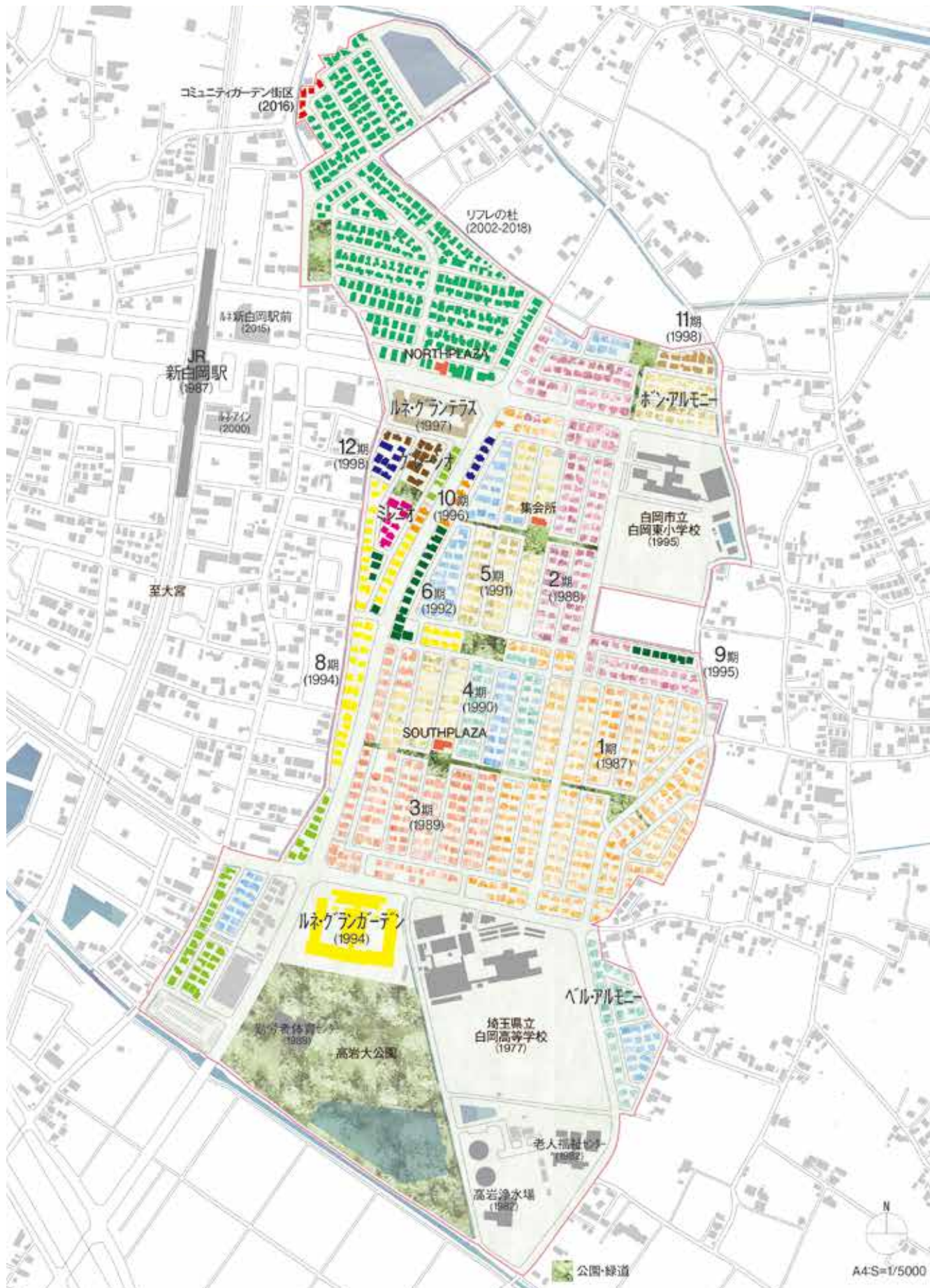
白岡ニュータウン航空写真（平成19年：2007年）



白岡ニュータウン航空写真（平成29年：2017年）



白岡ニュータウン販売マップ



第2部 その時私は…

白岡ニュータウンの街づくりは、自治会の活動が中心となってきました。その自治会を取りまとめる自治会長には、大変なご苦労や喜びがあったと想像します。

第二部では、歴代の自治会長に、これまでの街づくりにおいて経験されたお話を伺いました。



平成3～6年（1991～1994年）

第2代 自治会長 **松岡 卓巳**

新白岡駅開業と共に白岡町の住民になりました。当時、駅前の一部には水田があり、夕刻、家への帰路はカエルの鳴き声を聞きながらの、のどかなものでした。

入居時、50～60世帯程でしたが、半年ごとに住民も増加して行く中で、住環境の整備促進をとの多くの方々よりお声が上り、当時、自治会長並びに行政区長の任にありましたので、総合地所・町長へ強く要望し、後に銀行のATMの設置並びに郵便局の開業となりました。

そして、東小学校の建設においては、教育委員を町長より拝命し、当初住民の反対等もありましたが、無事、建設着工～開校の運

びとなり、今や東小学校は、県内でも優秀な学校と評価されているとの声を伺いますと、大変に感慨深いものがあります。更に、安心・安全のための駅前交番の設置を町長に強く強く要望し、実現の運びとなりました。

現在、白岡ニュータウンも、ビックタウンとなり、また、白岡市は、県内一の住み良い街と評価されるまでになりました。これから後も、益々住み良い街でありますよう、願ってやみません。

最後に、何も無い街に、一つ一つのを造り上げて行くと言う時に係われました事は私の人生において、大変に有意義なものでした。



第7回自治会総会
(平成7年：1995年白岡高校食堂にて)



平成9年（1997年）
東小鼓笛隊パレード



平成12年（2000年）
野外音楽会



平成11～14年（1999～2002年）

第4代 自治会長 岡田 光旦

白岡ニュータウン自治会創立30周年、誠におめでとうございます。

私は、自治会長に就任するにあたり、何をするかを明確にするため、まずスローガンを考えました。それは“挨拶と花と緑の明るいニュータウン”です。

東小学校が開校した際に教育長にお願いし、体育館を借りて総会を行い、来場者には花の苗を配布する事にし、今後の取り組みについてご説明させていただきました。現在もそのスローガンが使われていることを嬉しく思います。

東小学校の設立と同時にPTAの一部の方より、「子供会」を作ってほしいとの要望があり、アルミ缶等の回収費用を基にして子供会を設立しました。

CATVについては、総合地所の藤嶋所長と交渉して、総合地所から自治会に移管しました。一戸当たりのCATV会費7,416円を、まずは6,000円に値下げしていき、その後の各会長のご尽力により、現在では3,600円と当時の約半分になっています。

2ch（現在の11ch）を自主放送し、情報の徹底と迅速化を図りました。衛星放送が普及してきたため、各自でパラボラアン

テナと混合器を実費で設置していただくことで、CATVと衛星放送の両方が視聴できるようになりました。移管して良かったと思っています。

ふれあい音楽会を開催し、篠津中学吹奏楽部や埼玉県警音楽隊に参加していただき、交通安全を訴えました。

甘利町議会議員や有志の方より老人会を作してほしいとの要望があり、現在の悠友会を作り、補助を行って独立運営としました。

中央通りの榎の木の枝切りについては、通り沿いの方からの強い要望で役場に依頼し、伸びた枝を少し切りましたが、他の住民からは総会で「なぜ枝を切ったのか？」と厳しいご意見も頂き、どのようにしたら良いかと苦心しましたが、今となっては良い思い出です。自治会の活動に対し、役員はもとより、班長や会員の方々のご協力に対し、深く感謝します。ありがとうございました。

白岡ニュータウン自治会も高齢化と共に、諸行事の見直し等、会長や役員の方々も大変かと思いますが、ご苦勞に感謝すると同時に自治会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。



平成15～17年（2003～2005年）

第5代 自治会長 森田 貴美子

総合地所への業務委託から会員による自主運営に移行し、事務局に初めて導入した一台のパソコンを怖々と操作したのも、今は昔の懐かしい光景です。やがて、電子機器に強い役員が次第に増え、自主放送に積極的に取り組んだ結果、他市にない新しい自治会活動として埼玉県知事表彰を初めて受けました。多忙な役員間ではメール会議も始まり、情報の整理と共有を目指してパソコン台数は増え、事務局では会員台帳、会計、地域地図のコンピューター管理が定着し、先駆的で合理的な自治活動が展開できました。

その一方で、総合地所が先行整備した規

則・規約には、実情にそぐわない難点が見つかり、それらの見直しと改正作業は在任3年間のみならず、退任後もボランティアとして関わり続ける課題になりました。会員間で緑化規約の共通解釈に微妙な隙間が生じた時は、「花と緑の街」の将来を見据え、足と時間を惜しまず対話に努めたものです。

又、当時はCATVの設備、管理両面共に深刻な問題に直面していたため、その存続も含めた検討を続け、折からの地デジへの移行を前に会員への説明会や、共同受信機器の新工事にも取り組みました。これらは、目に見える賑やか盆踊り等の行事とは対照的に地味な活動でしたが、役員仲間やボランティアが知恵を絞りあって越えた峠でした。

自治会加入の是非を巡って多様な意見を耳にする昨今ですが、当時の防犯灯管理の行政移管交渉、1丁目地区の多人数・多用途の集会所実現等、ハードルの高い課題にも躊躇することなく向き合えたのは、「全戸加入」という基盤があったからだと思ひ返しています。





平成18～20年（2006～2008年）

第6代 自治会長 **辻野 正治**

平成21年4月まで最後の3年間の自治会長を含めて計9年間役員を経験いたしました。

当時の役員の方々をはじめ当地にお住まいの皆さんには大変お世話になりました。

今回30年の歩みへの寄稿を依頼されて真っ先に頭を過ぎったのは、平成20年の記念行事の思い出でありました。

まずは準備委員会を立ち上げて隔月に開催した委員会において喧々諤々のうえ、主に4大テーマに絞って平成20年の総会に諮り方向性が承認されてGOが掛かりました。

その4大テーマの企画名、キャッチコピー、リーダー名は夫々次の通りでした。

① 写真展 私達の街『あの頃、今、そして



2008年 植樹会

て明日』2丁目田端勇治さん（7代目自治会長）

② 新しらおか祭り『ニュータウンの20年をみんなで祝いましょう!』1丁目杉下隆雄さん

③ 街路樹の補植『皆で植えよう、育てよう! 緑はニュータウンの宝物!』2丁目前原満雄さん

④ 自治会ホームページ開設『自治会ホームページを皆で活用しよう!』3丁目大島薫さん

写真展については、私自身も総合地所や市役所（当時の町役場）、中央公民館などを訪問して開発前後の写真の探索に汗した記憶があります。

新しらおかまつりについては、夏祭りに歴代の自治会長にも出席願い労苦劳い方々紹介させていただきました。

街路樹の補植については、白岡高校生にも協力してもらい、町の補助を受けて3年に亘って補植を行いました。

ホームページについては、その後も改良が加えられて現在の姿に育てられました。

今回の自治会30年の記念行事を更なる土台として、この地域が永遠に発展して行くことを願ひまして報告と致します。



平成21～24年（2009～2012年）

第7代 自治会長 田端 勇治

「こんばんは、すいませんお願いがあるのですが。役員のカジを引いてしまったのですが、私の代わりに引き受けていただけないでしょうか」平成17年3月のことでした。「わかりました。いいですよ。」と簡単に引き受けてしまい、まさかそれから自治会長までお引き受けするとは思っていませんでした。総務部副部長を1年、部長を2年、副会長を1年、そして会長4年、都合8年の自治会役員の活動でした。

8年間無事に役員を務めることができたのも、ひとえに役員そして会員の皆様のご支援・ご協力があったからこそと思います。8年間の活動の中で思い出に残っていることは、平成22年7月、白岡ニュータウン緑化規約を約9か月かけて一元化し、全戸配布したこと。平成22年11月、白岡

東小「子ども見守り隊」のボランティアを募りスタートさせたこと。今では高岩・駒形の人たちにもご支援をいただき見守り活動が続いています。

Mさん、Kさん、Sさん、Aさん、自治会活動を通して、いろいろな人に出会い、いろいろな人の意見を聞き、いろいろな経験をし、本当にかげがえのない時間を過ごすことができました。

仏典に「蔵の財（たから）よりも身の財すぐれたり、身の財より心の財第一なり」とあります。これからもいろいろな人と触れ合い、私自身、心の財を豊かにして、今後も自治会の一会員として地域に少しでも貢献できればと思っております。白岡ニュータウン自治会30周年誠におめでとうございます。



第2章

いま白岡ニュータウンで！ ～活動紹介～

本章では、白岡ニュータウンを支える地域の方々の主な活動を紹介します。

■白岡ニュータウン自主防災会 …………… 会長 田端 勇治

災害はいつ発生するかわかりません。災害の発生を防ぐことはできません。しかし、災害による被害を少なくすることはできます。自分の身は自分で守るという「自助」、共に助け合う「共助」がとても大切です。

平成26年6月22日、自治会より組織を分離独立し、現在の白岡ニュータウン自主防災会が新しく発足しました。それまでの自主防災会は、自治会役員が兼務をして活動していました。平成25年の春、20名の有志が災害時要援護者支援対策の検討を開始しました。10月に実施した「防災調査票」の全戸配布により、災害時に援護を必要としている人が41名いることが判明。今後の白岡ニュータウン内の高齢化等勘案すると、組織を自治会から分離独立して活

動すべきだとの結論に至ったのです。平成28年に2回目の「防災調査票」の全戸配布・調査を実施しました。38名の方が援護を必要とし、大変うれしいことに350名の方が支援者として登録をしていただきました。私たちが住んでいる白岡ニュータウンには、素晴らしい組織やグループがあります。自治会、新白岡悠友会、そのほかいろいろなボランティアグループ。その活動を通して、地域の強い結びつきがあります。地域の防災力は、その地域の人たちのつながりの強さで決まります。「防災に強い地域」にしていくために、今後とも地域の皆様の防災活動へのご支援・ご協力をお願いいたします。



■新白岡悠友会 …………… 前会長 高薄 克人

白岡ニュータウン自治会30周年おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私たち悠友会の前身である「シルバー友の会」が自治会の老人部会として設立されたのが、平成7年です。ほぼ同時期に子供部会もでき、自治会の運営がそれまでの総合地所から自主運営に移管されたのもこの頃です。シルバー友の会は平成14年に自治会から分離独立し名前も「悠友会」と改められ自主運営になりました。そして平成27年には20周年を迎え、自治会の支援も受けて記念行事や事業を行うことが出来ました。

このような歴史的背景があり悠友会と自治会とは、いわば親子の関係にあります。自治会は住民皆加入の組織で主に住民の安全安心を確保することを第一目的として活動されていますが、悠友会はあくまでも任意加入であり会員のセカンドライフが健康で楽しく意義のあるものにするお手伝いをすることを目的としています。その目的のために悠友会には多くの趣味のクラブを設立しており、また会として行う行事では会員同士の懇親を図ったり、さらに地域社会との交流をもつための活動を行ったりしています。クラブでの活動を通して仲間と語り、趣味を拡げ、生き甲斐を作り、また

催事を通してささやかながら地域の学校などへの社会貢献をし、講座などで教養・知識を高めています。なお、悠友会にはブログがあって、活動状況と映像・動画など、逐次更新しています。Yahoo検索で「悠友会プラザ」と入力すれば見られます。一度お試してください。

悠友会には現在200名近い会員がおりますが、柔軟でオープンな活動を目指しています。これから入会される方たちともさらに楽しいものにしていきたいと思っています。



■花と緑の会……………会長 丸森 桂子

「花と緑の会」は、平成13年に「花と緑のある、快適な街づくりを推進すること」を目的に設立され、自治会の総会と同じ4月29日の午後、3丁目集会所にて定期総会を開催しています。平成28年(2016年)白岡市の協働モデル事業で助成を受けました。

会員は、27世帯30名。主な活動は、

- (1) 花苗を育成し、植栽する活動として、各集会所周辺の花壇等花の植栽と水やりをしています。特に、1丁目集会所周辺の花壇は、一昨年、白岡市からの補助金を使って、花苗ポットの塗り替えを行いました。担当者が季節に応じて花の植え替えを行っています。
- (2) 花苗を販売する活動は、青空市で、売上げは活動費の一部となっています。
- (3) 堆肥を製作する活動は、白岡市役所の使用許可を得て、高岩公園内に堆肥製作所を設け、けやき落ち葉を使用しての堆肥は、会員の皆様に配布させていただいています。
- (4) 会員相互の友好を深める活動として、本年は、白岡市内のオープンガーデン見学をするなど、勉強会や打ち合わせ会などを通じて、友好を深めています。

種から花を咲かせたり、菜園づくりの情報交換も行ないます。

お花作りに興味のある方、堆肥作りをしてみたい方、お友達を作りたい方等、男女は問いません。会員は随時募集しております。声をかけていただくか、青空市でお申し込みください。お待ちしております。



■ニュータウンアカデミー スタッフ 小森 あゆ子

平成18年にニュータウンアカデミーは立ち上がりました。当初、「会員にはいろいろな分野で活躍しておられる方が多い。その方たちのお話を聞けたらいいね。」と、自治会役員経験者の間で話題になり、早速、第1回講座「ヒマラヤのお話を聞く会」が開催されました。

白岡ニュータウンは人材の宝庫です。医学・健康・体操・庭木手入れ・作家等の豊富な住人仲間、講師陣が続き、裁判员制度や認知症を知る、白岡の地名と歴史等々の出前講座と共に身近な学習の場を提供してきました。かつて年間5～7回の講座を開催していた時期もありました。3回程度に定着した現在でも、コンサートは必ず開催しています。この街にはプロで活躍している方、只今修行中の方、大学で音楽の道に進まれた方など少なくありません。特に学生さん達には地元住民として応援したい気持ちもあります。

開催のご相談では、日程の調整などを快く引き受けて下さる演奏家の皆様、そのご理解に支えられ、和やかで素晴らしい演奏会は白岡ニュータウンでは癒しのひとときで名物のひとつとなりました。音楽好きな参加者には毎回感動のひとときを楽しんで

いただいています。自治会からの補助金を頂けるようになってからは、特にグランドピアノなどもレンタルし、さらに厚みのあるコンサートになりました。

今後も、さらに有意義な講座やコンサート等の企画を工夫し、我々スタッフも一緒に楽しみながら開催していきたいと思えます。是非、ご参加ください。



30周年記念事業実行委員会の設置

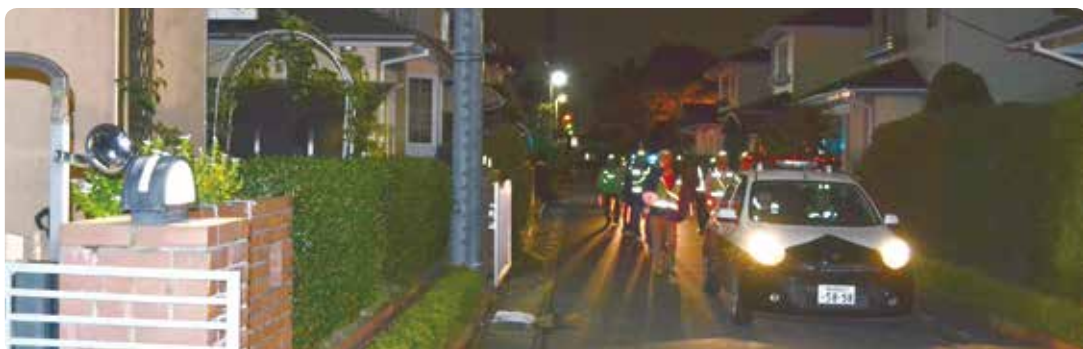
自治会創立30周年を記念し、様々な事業を計画するため実行委員会が平成29年（2017年）に設置されました。



30周年イベントポスター

特別パトロール実施

平成29年（2017年）10月、秋の全国地域安全運動に併せ、白岡ニュータウン自治会と久喜警察署、白岡市の合同による特別パトロールが実施されました。当日は、自治会の有志や警察のパトカー、市の青色パトロールカーが、白岡ニュータウン内を巡回し、住民に犯罪の注意を呼びかけました。



特別パトロール（平成29年10月14日）

繋がる絆

本章では、地域の方々の世代を超えた繋がりをご紹介します。

第1部 街を想い期待する ～先輩からひとこと～

長年白岡ニュータウンに住まわれている先輩方に、この街のことを尋ねてみました。

新白岡2丁目 中田 章

四国・瀬戸内の港町で育ち、人生の半分近くを関西で過ごした私にとってこの街は新鮮でした。海辺が無い代わりに、あちこちに小さな川や用水路が走り、それが立体交差する「伏せ越し」という仕組みがあるのには驚きました。江戸中期の儒学者、新井白石の所領があったことも初めて知り、彼の名著を読む機会を得ました。

マンションから四囲に富士山、秩父の山々、

上毛三山、日光連山、筑波山を遠望でき、広い関東平野の真ん中ではないか（北緯36度0分東経139度40分に位置する）という思いとともにこの20年間、大きな災害に遭わなかった幸運に感謝しています。メモ帳の交遊録が増えてゆくことが素晴らしい。

数年前、ある経済紙の「住みよいランキング」で関東地方の上位に評価されたことがありました。しかし「住んで一番良かった」ということはランキングの高さより趣味や学習、イベントなどを通して知識欲、好奇心が旺盛でアクティブな人たちと知り合えたことです。

ここで… 白岡ニュータウンにお住いの方々に**7つ**の質問…アンケートに答えていただきました。

- Q1 白岡ニュータウンはいつからお住まいですか？ (順不同)
- Q2 この街に住まいを決めた最大の理由は？
- Q3 入居以来、忘れられない出来事は？
- Q4 白岡ニュータウン（この街）の良いところは？
- Q5 白岡ニュータウン（この街）の良くないところは？
- Q6 白岡ニュータウンを、より住みよい街にするため…今後、何が必要でしょうか？
- Q7 その他・日ごろお感じのことなど

S.T.さん (90歳)

- A1 昭和62年（1987年）6月
- A2 都心への足も電車一本で行ける、将来美しい街になると思った
- A3 夜道が暗かった、夜10時を過ぎ電車で帰ると大概私ひとり懐中電灯で足元を気遣い帰宅
- A4 緑が多く街並みが美しい又家々の庭には草花が多い
- A5 買い物不便である
- A6 人が集まれる場所、食事等ができるところがあると良い、老人も外出が楽しくなる
- A7 たくさんの友達ができたこと、習い事でいまでも生き甲斐を感じている

T. N. さん (91 歳)

- A 1 平成13年（2001年）3月
- A 2 妻の看護を娘に頼むため
- A 3 妻の看護と死亡、白岡市の看護援助及び施設の手厚いサービス、娘の援助に感謝している
- A 4 新白岡の街が一体にまとまっている、老人クラブに殆ど毎日通い多くの人と交流し楽しい
- A 5 特になし
- A 6 ノースプラザやいきいきサポートで2時間体操、健康指導及び多くの人で親近感を覚える
- A 7 悠友会、老人クラブ等があり良いのではないかと、孤独の感じはない

N. S. さん (89 歳)

- A 1 平成3年（1991年）5月
- A 2 三世代が同居可能とみたため、静かでのどかな環境
- A 3 家の前をトラクターが通り田んぼに通った、蛙の大合唱、小さな蛙が門燈を暗くするほど
- A 4 心休まる、生垣の家並み
- A 5 市内での移動、買い物が大変不便
- A 6 出来るだけ緑の保護につとめてほしい！！
- A 7 孫たちものびのび、好きな道にいそしみ、それぞれが自立することができた

K. K. さん (87 歳)

- A 1 平成3年（1991年）3月
- A 2 街並みが綺麗
- A 3
- A 4 緑が多い
- A 5 交番が無人の時が多い
- A 6 建て替え時も二重植栽など環境を維持する街づくりにして！喫茶店など食事処がほしい
- A 7 隣組は勿論、周りがとても仲よくお付き合いができます、満足しています

S. T. さん (88 歳)

- A 1 平成5年（1993年）8月
- A 2 住環境
- A 3 町会議員の選出
- A 4 街並み
- A 5 特になし
- A 6 世代間の交流
- A 7

K. K. さん (87 歳)

- A 1 平成3年（1991年）12月
- A 2 新白岡駅まで歩いて行ける、新しい街であること
- A 3 住み始めてから間もなく、新白岡駅のホームに人がいなかったこと
- A 4 新しい街である所
- A 5 別にありません
- A 6 周りの人々と仲よくすること
- A 7 入居して良かったと思います

ここで… 白岡ニュータウンにお住まいの方々に**7つ**の質問…アンケートに答えていただきました。

- Q 1 白岡ニュータウンはいつからお住まいですか？ (順不同)
- Q 2 この街に住まいを決めた最大の理由は？
- Q 3 入居以来、忘れられない出来事は？
- Q 4 白岡ニュータウン（この街）の良いところは？
- Q 5 白岡ニュータウン（この街）の良くないところは？
- Q 6 白岡ニュータウンを、より住みよい街にするため…今後、何が必要でしょうか？
- Q 7 その他・日ごろお感じのことなど

N. A. さん (79 歳)

- A 1 平成9年（1997年）3月
- A 2 ニュータウン全体のインフラが整備され、新白岡駅、都心に比較的近いこと
- A 3 富士山、浅間山、上毛三山、日光連山、筑波山などが遠望でき、空気が新鮮に感じられた
- A 4 緑が多く街並みが綺麗なこと
- A 5 特にありません
- A 6 老夫婦中心の暮らしにどう対応していくか難しい問題ですが知恵を出し合う必要がある
- A 7 新白岡駅前が少し寂しい、スーパーなどが欲しいと思う

T. S. さん (89 歳)

- A 1 平成元年（1989年）11月
- A 2 東京は近隣との距離が狭く、日当たりが悪いので
- A 3 越してきたとき別天地と思った
- A 4 悠友会、趣味を生かして有難い、アカデミー演奏会は高度な内容で回数を増やしてほしい
- A 5
- A 6 ご近所の方とお話をする機会、場所があればよい
- A 7 長く住んで慣れた、子供の声が少なく静かすぎる、ちょっと寂しい

S. K. さん (85 歳)

- A 1 平成4年（1992年）2月
- A 2 妹が高岩に住んでいたため
- A 3 悠友会にはいり、歌に出会えたこと
- A 4 市の福祉が充実していて嬉しい、悠友会に良くしてもらい歌が好きでカラオケも楽しみ
- A 5 特にありません
- A 6
- A 7 不満はないが交通手段はタクシーでバスが欲しい、買い物は宅配サービスを利用する

H. A. さん (83 歳)

- A 1 平成元年（1989年）4月
- A 2 都内の家が古くなったため
- A 3
- A 4 住み易く、静かな気持ちでいられる
- A 5
- A 6 駅周辺の開発をすすめてほしい
- A 7 買い物が不便、湘南新宿・上野東京ラインは便利

第2部 次世代を担う人たち ～白岡ニュータウンと共に～

白岡ニュータウン誕生とほぼ同じくして誕生し、共に育った方々に、白岡ニュータウンでの暮らしについて寄稿していただきました。

「ありがとう30年！」

新白岡3丁目 松沢 朋葉

私はこの新白岡で生まれ育ち、約三十年の月日経ちました。都心から1時間ほどの田舎ですが、都会にいて感じる雑音や煩わしさが一切なく、緑が多い綺麗な街並みにいつも心穏やかな気分になります。この街とともに育ってきた私には沢山の思い出があります。

幼い頃、私はよく夜泣きをしました。そうするときまって父が夜風を浴びに近所をおんぶしてくれたことを今でも覚えています。小学生の頃には、父とあちらこちらを散歩しましたが、たまに流れてくるピアノの音が密かな楽しみでした。

そんな小学生時代を思い出させてくれるのは、他にもない香りです。ニュータウンの街には花がいっぱい。特に東小学校にはクチナシの花とキンモクセイが沢山植えてありました。大人になった今でもこ

れらの花の香りが街に漂う季節には様々な思い出が蘇ります。

中学生の時には、両親からプレゼントしてもらった音楽プレイヤーを聴きながらニュータウンを散歩したり、社会人になったら体力作りと語学学習も兼ねてラジオを聞きながら夜の静かなニュータウンをランニングしていました。年を重ねるごとに心身ともに変化する私にとって、この街は変わることなく私を受け入れてくれる、まるで家族のような存在だと気づきました。

今でも駅を降りると不思議とホッとした気持ちになり癒されている自分にふと気付きます。やはり私はこの街が好きなのだ。ありがとう、ニュータウン。そしてこれからも。

「この街で私も30歳になりました」

新白岡3丁目 山口 沙也

私とこの街の出会いは幼稚園の時でした。

幼稚園の遠足で梨狩りをしに白岡を訪れ、とても美しい緑と清々しい空気の中、楽しい思い出を作ることができた事をよく覚えています。その時は、まさか自分がこの街に住むことになるとは思いませんでした。そんな私が白岡ニュータウン3丁目に引っ越してきたのは小学校1年生になる6歳の時でした。

綺麗な家、新しい友達、初めての学校。

公園がたくさんあり、緑も多く、多くの人に見守っていただけている環境でのびのびと遊び、学ぶ事が出来ていた日々が昨日のここのように思い出されます。特に東小の夏祭りやごみゼロ運動は友人たちや近所の方々と楽しく過ごせる大好きなイベントでした。

中学・高校・大学と他県の学校に進学したため、

白岡で過ごした学生時代は小学校だけでしたが、進学してからも一人暮らしはせずに白岡ニュータウンの我が家から通い続けました。

遠くの学校へ通い、楽しいことや嬉しいことは勿論、嫌なことや辛いこともたくさんありました。でも、この街へ帰ってくるたびに澄んだ空気と広い空と緑や土の香り、家々の明かりに癒され励まされたなぁと今はしみじみ思います。

今ではこの街に就職し、私を見守り育ててくださった街の皆様に少しでも恩返しができるよう努力する毎日です。

白岡ニュータウンは常に私の帰る場所でした。

これからもこの街が皆様の良き帰る場所であるよう願うと共に、私自身も白岡ニュータウンに携わって行きたいと思っています。

「白岡ニュータウンのあたたかさ」

新白岡1丁目 加貫 絵梨子

私はこの白岡ニュータウンで暮らして約25年になります。中学生の時に都内から転居し、結婚・出産を経て現在は実家に近い新しい街区に住んでいます。新しい家族と住む家を探すにあたり、実家に近いということもありますが、この白岡ニュータウンの安心で落ち着いて暮らせる環境や東小学校に通う安心感も大きな要素となりました。そして段階的に開発されたため幅広い世代が暮らす街であることはとても魅力的である日々実感しております。

東小学校登下校時には、自治会の見守り隊の方々があたたかい声をかけてくださり、日々とても安心して通学しています。その他、習い事や公園遊びなど街の方々に見守っていただいている安心感があり住みやすい街と感じております。将来、子供達が同じように感じられるよう私達子育て世代も多くの世代の方々と共に街づくりへ貢献していきたいと思えます。

「ふるさとに望むこと」

新白岡1丁目 崎浜 晋子(旧姓 吉井)

私は、生まれてすぐ新白岡へ引っ越し、25年ほど過ごしました。進学、就職、結婚を経験し、現在30歳です。人生のイベントの中で自分の住処を変える度に思い出すのは、故郷のことです。

子供の頃は毎日変化のない景色を退屈に思っていました。今となってはその景色こそが私が住みたい町の基準です。いつ帰っても変わらない町は、幼少の頃より慣れ親しんだ安心感があります。だからこそ、そのままの風景を残してほしい気持ちになります。しかし時代の変化や現住民の要望に沿って街も変わっていきます。長く残る住みやすい魅力的な町をつくるためには、進歩が必要です。そこで、私

が故郷に望むのは「緩行」です。昔住んでいた人にも、今住んでいる人にも、これから住む人にも、ここにいて良かったと思える町であってほしいと願っています。そのために、良い面は残しつつ少しずつ変化して行ってほしいです。

現在別の場所に住んでいる私からすると、勝手ながらすぐに丸ごと変わってしまうのはさびしく思います。昔の故郷を思い出せる景色こそが「おかえり」を感じられるからです。何度でも帰ってきたい、そして変化と成長を楽しみたいと思える故郷が、私の望むふるさとです。



「大人になって感じる新白岡」

子供の頃は、子供でいる時間がずっと続くような気がしていました。時が経つのは本当にあっという間で、そうそうには訪れないと思っていた30歳が目前となりました。そんな大人になった今、幼少期を過ごした新白岡について書きます。

私は小学校低学年から大人になるまで新白岡で過ごしました。通う事になった東小学校は、鮮やかなオレンジ色の校舎がとても印象的でした。近くの川でザリガニを探したり、毎日公園や学校の校庭、友人とお互いの家を行き来して遊んだりしていました。夕方、友人と遊び終えた後の帰路では、家の窓からこぼれる灯りと美味しそうな夕食の香り、どこからか聞こえてくる遊んでいる子供の声。そんな様子が今も思い出されます。なんて平和な日々だったのでしょか…。

そして今思えば、子供が遊びやすいたくさんの公園、整備された広い歩道、家族世帯が多く暮らす住

新白岡2丁目 白岩 めぐみ

宅街で友人宅への道のりも分かりやすく、また車の交通量も多くないため、子供が自由に遊び、行動しやすい街だったのだな、と思います。

現在私は新白岡を離れて暮らしていますが1～2か月に一度は新白岡の自宅へ帰っています。電車を降りて街を歩くと空気が美味しく感じられ、喧騒とは無縁の穏やかな街を帰る度に実感し帰ってきたなあとほっとします。

晴れた日には、道沿いに植えられた木々の緑とレンガ色の歩道、それぞれの個性を持ち並んだ住宅と青空とのコントラストが綺麗だと感じます。

振り返ると、住宅がとても増えたりと変化はありますが、この温かみのある街の雰囲気と清潔感や暮らしやすさは変わりません。今後もそうであってほしいと思います。そしてこれからも、私はこの街を訪れ、元気をもらい日々を頑張っていきます。



第3部 未来へ繋ぐ絆 ～僕の夢・私の夢～



宮永 星音さん (小学6年生)



築瀬 悠人さん (小学6年生)

白岡ニュータウンの未来を描いていただきました。(学年は作品応募時)



内藤 優南さん (小学5年生)



小野 日菜子さん (小学5年生)

資料

本章では、白岡ニュータウンの歩みや統計データをまとめました。

第1部 自治会・自主防災会 歴代会長・副会長

白岡ニュータウン自治会

年 度	会 長	副 会 長（順 不 同）			
平成元年度（1989年度）	甘利 健				
平成2年度（1990年度）	甘利 健	田中 幹夫			
平成3年度（1991年度）	松岡 卓巳	河村 修司			
平成4年度（1992年度）	松岡 卓巳	河村 修司			
平成5年度（1993年度）	松岡 卓巳	河村 修司			
平成6年度（1994年度）	松岡 卓巳	河村 修司	岡田 光旦	矢吹 博司	
平成7年度（1995年度）	河村 修司	新井 銑吉	岡田 光旦	矢吹 博司	
平成8年度（1996年度）	河村 修司	新井 銑吉	岡田 光旦	矢吹 博司	
平成9年度（1997年度）	河村 修司	新井 銑吉	岡田 光旦	吉原 千秋	田中 幹夫
平成10年度（1998年度）	河村 修司	追川武次郎	岡田 光旦	吉原 千秋	田中 幹夫
平成11年度（1999年度）	岡田 光旦	追川武次郎	飯塚 牧三	吉原 千秋	田中 幹夫
平成12年度（2000年度）	岡田 光旦	大西 康治	飯塚 牧三	吉原 千秋	
平成13年度（2001年度）	岡田 光旦	大西 康治	飯塚 牧三		
平成14年度（2002年度）	岡田 光旦	大西 康治	飯塚 牧三	森田貴美子	
平成15年度（2003年度）	森田貴美子	村尾斉一郎	辻野 正治	横山久磨尾	
平成16年度（2004年度）	森田貴美子	村尾斉一郎	辻野 正治	横山久磨尾	
平成17年度（2005年度）	森田貴美子	村尾斉一郎	辻野 正治	小森あゆ子	
平成18年度（2006年度）	辻野 正治	村尾斉一郎	折本 勉	池上 嘉一	
平成19年度（2007年度）	辻野 正治	小森あゆ子	折本 勉	池上 嘉一	
平成20年度（2008年度）	辻野 正治	小森あゆ子	折本 勉	池上 嘉一	田端 勇治
平成21年度（2009年度）	田端 勇治	小森あゆ子	折本 勉	池上 嘉一	村尾斉一郎
平成22年度（2010年度）	田端 勇治	新居 敦子	折本 勉	佐古 武雄	村尾斉一郎
平成23年度（2011年度）	田端 勇治	新居 敦子	折本 勉	佐古 武雄	村尾斉一郎
平成24年度（2012年度）	田端 勇治	新居 敦子	折本 勉	佐古 武雄	村尾斉一郎
平成25年度（2013年度）	浅井 嘉一	村尾斉一郎	折本 勉	佐古 武雄	
平成26年度（2014年度）	浅井 嘉一	村尾斉一郎	廣瀬 誠優	佐古 武雄	
平成27年度（2015年度）	浅井 嘉一	村尾斉一郎	廣瀬 誠優	佐古 武雄	
平成28年度（2016年度）	浅井 嘉一	村尾斉一郎	廣瀬 誠優	佐古 武雄	氏林 浩一
平成29年度（2017年度）	浅井 嘉一	村尾斉一郎	野呂 典子	飯塚 牧三	

白岡ニュータウン自主防災会

年度	会長	副会長（順不同）			
平成26年度（2014年度）	折本 勉	吉井 健	田端 勇治	浅井 嘉一	飯塚 牧三
平成27年度（2015年度）	折本 勉	吉井 健	田端 勇治	浅井 嘉一	飯塚 牧三
平成28年度（2016年度）	田端 勇治	吉井 健	小川 誠	浅井 嘉一	飯塚 牧三
平成29年度（2017年度）	田端 勇治	吉井 健	小川 誠	浅井 嘉一	



平成13年（2001年）役員選出



平成23年（2011年）防災訓練



平成26年（2014年）夏祭り お囃子



平成26年（2014年）夏祭り 盆踊り



平成27年（2015年）歳末警戒パトロール



平成27年（2015年）青空市 餅つき

第2部 白岡ニュータウンの歩み

白岡ニュータウン自治会の誕生からの歩みを、日本・世界の情勢と比較しながら記録しました。

年表 (1/2)

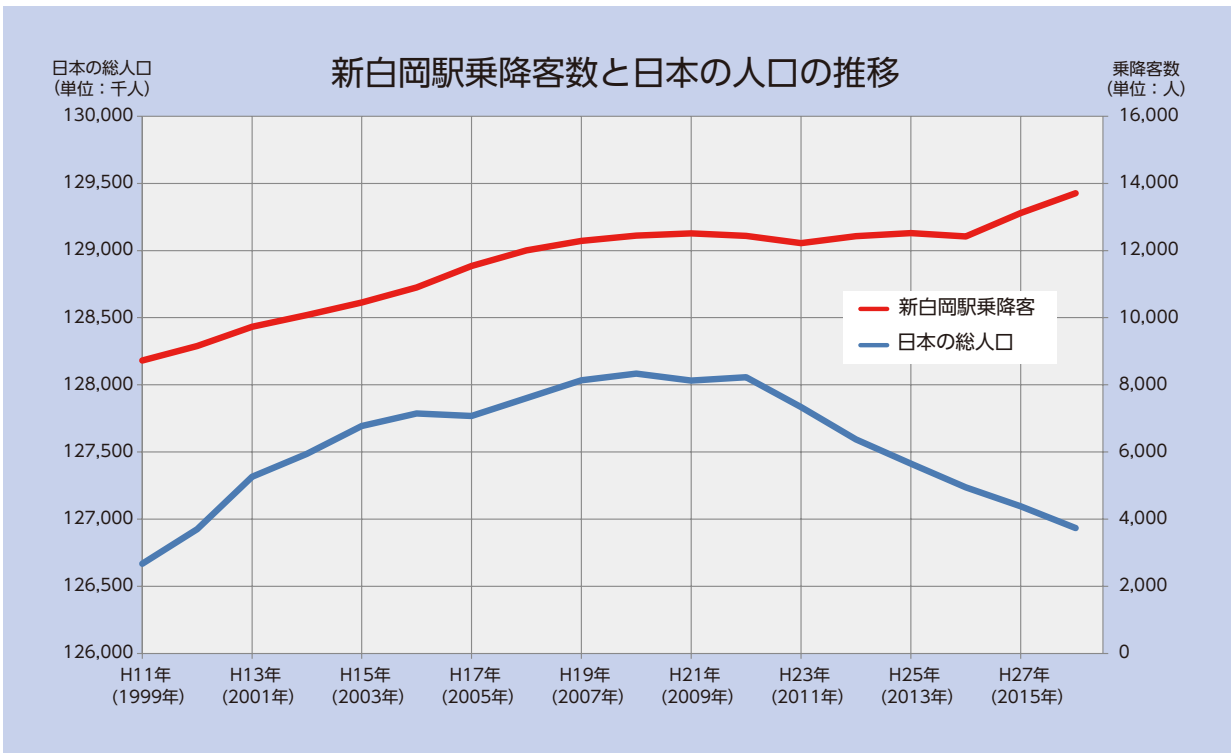
年	月	日	主な動き	主な出来事
昭和64年 平成元年 1989年	1		自治会設立総会	昭和天皇崩御 (1/7) 昭和→平成
	2	4	サウスプラザ (3丁目集会所) 行政より貸与	勤労者体育センター開業 (4/1)
	4	23	自治会第1回通常総会	消費税 (3%) 開始 (4/1)
	6	5	ごみゼロクリーン清掃運動開始	白岡高校前信号設置
	12	10	クリスマスバザー・青空市 世帯数：411戸	白岡町盆踊り大会に自治会住民参加 (8/19) 東証平均株価市場最高値 (38,915円)
平成2年 1990年	昭和62年5月 ~平成2年3月		1~3期13次全分譲戸数546戸 倍率：平均26倍 最高153倍	円・株・債権相場トリプル安 バブル崩壊へ 東西ドイツ統一 (10/3)
	8	18	高岩・白岡ニュータウン盆踊り大会・2日間 (現スギ薬局敷地)	
平成3年 1991年	5月~ 平成4年3月		4期1~4次分譲86戸 倍率：平均12~24倍 最高35~58倍	白岡マラソン大会始まる (1/15) ソ連邦消滅 (12/15)
	4	21	町議会議員選挙 甘利健氏 初当選	
平成4年 1992年	8	22	白岡ニュータウン初の盆踊り大会始まる (2日間)	白岡町新庁舎オープン
	5月~12月		6期1~4次分譲85戸 平均倍率：2~4倍	バブル景気終焉
平成5年 1993年	5	14	センタープラザ (2丁目集会所) 行政より貸与	3丁目3番交差点に信号機設置 (4/6) スーパーヤオコー新白岡店オープン (4/20) 非自民「細川内閣誕生」「55年体制」崩壊
	11	23	ふれあいウォーク開催 (自治会発足5周年記念341名参加)	
	6月~7月		7期1~2次分譲11戸 先着順 世帯数：736戸	
平成6年 1994年	11	23	親睦ソフトバレーボール大会 (35チーム350名参加)	細川→羽田→村山内閣発足 1\$=99.85円
	6月~ 平成7年1月		8期1~2次分譲28戸 先着順	
平成7年 1995年	4	23	町議会議員選挙 甘利健氏再選 松岡卓巳氏当選	阪神淡路大震災 (1/17)
	7	2	「新白岡シルバー友の会」結成 (平成14年「新白岡悠友会」に改称)	白岡東小学校開校 (4/1)
平成8年 1996年	5	26	防災訓練始まる 屋外消火器20個設置 (現在32カ所)	金融ビッグバン 新白岡駅前郵便局 開局 (9/17) 衆院選挙小選挙区比例代表制選挙 (10/20)
	8	20	白岡ニュータウン自主防災会 発足	
	7月~ 平成9年1月		10期1~2次分譲20戸 先着順	
平成9年 1997年	2		自治会事務局 開設	消費税 (5%) 開始 (4/1) 武蔵野銀行新白岡支店開業 駅前書店「アポック」オープン (平成13年閉店)
	3	28	「ルネ・グランテラス」完成 163戸	
	4	29	自治会自主管理運営実施 (第9回総会)	
平成10年 1998年	6		「自治会だより」発行開始	長野オリンピック開幕 (2/7) GDP マイナス成長戦後初
	9	7	12期1次分譲10戸 先着順	
	12	27	歳末警戒パトロール開始 世帯数：860戸	
平成11年 1999年	4	11	町議会議員選挙 河村修司氏当選	新白岡駅前交番 設置 携帯、PHS 5千万台突破
			スローガン提唱「挨拶と花と緑の明るいニュータウン」	
平成12年 2000年	3月~5月		ミレニオ2期分譲18戸 先着順 H13/3~引渡し入居	白岡ニュータウン公共下水使用開始
	12	10	趣味の作品展始まる	
平成13年 2001年	8	25	夏祭り盆踊り大会 1日のみとする	白岡町自主防災訓練参加 (9/9) アメリカ同時多発テロ勃発 (9/11) JR「湘南新宿ライン」運行開始 (12/1)
	10	18	CATV 自主放送開始	
平成14年 2002年	7月~ 平成15年2月		リフレの杜1-2期分譲20戸 先着順 H15/3. 8~ 引渡し入居	宇都宮線「野高地下道」開通 (11月)
平成15年 2003年	4	27	町議会議員選挙 河村修司氏再選	イラク戦争 (3/20) 地上波テレビデジタル放送開始 (12/1)
	8	23	15周年記念夏祭り・盆踊り大会実施 世帯数：947戸	

年表 (2/2)

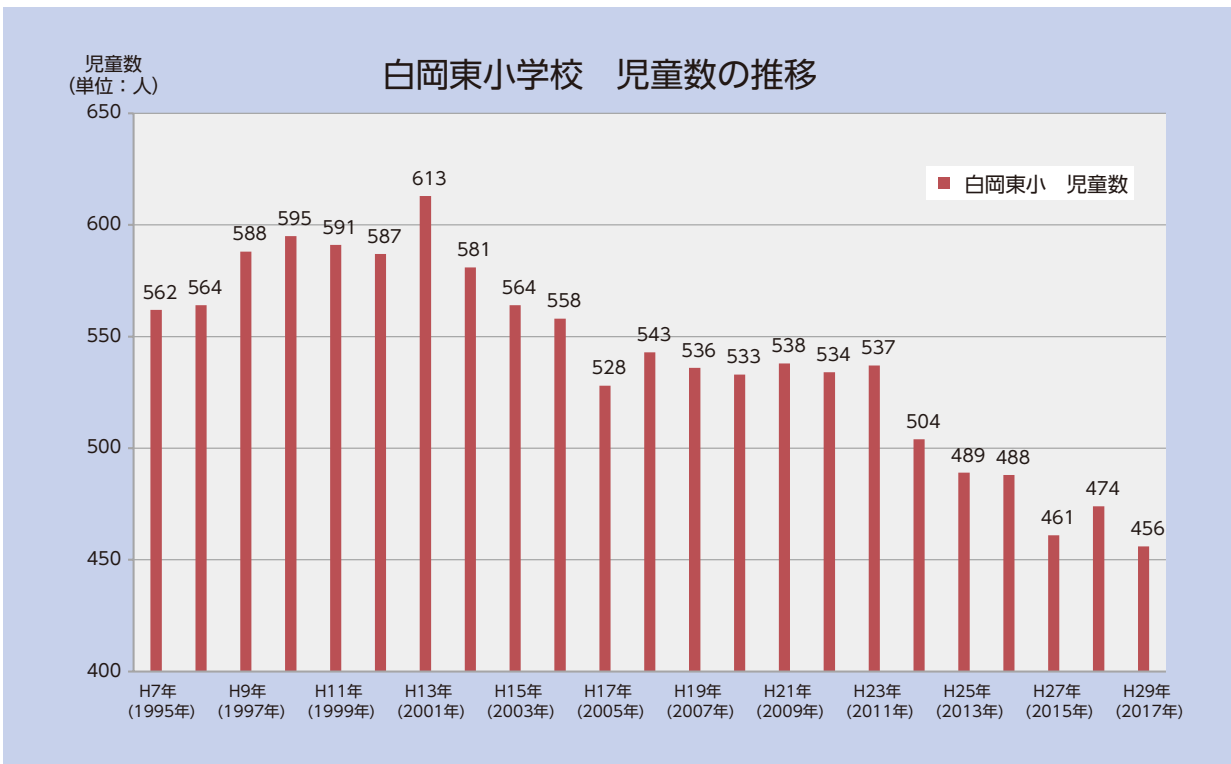
年	月	日	主な動き	主な出来事
平成 16年 2004年	3	27	リフレの杜 2-3 期分譲 10 戸 先着順 H16/8～引渡し入居	2 回目日朝首脳会談 拉致被害者家族帰国 猛暑 東京 39.5℃最高記録更新 (7/20)
	6	26	自主防犯パトロール開始	
	11	22	「CATV 自主放送」 県優秀賞受賞 (自治活動業績表彰)	
平成 17年 2005年	4		リフレの杜 4-1 期分譲 10 戸 先着順 H17/12～引渡し入居	蓮田、白岡、菖蒲合併住民投票不成立 (1/30) JR 福知山脱線事故 (4/25)
	7	2	地上波テレビデジタル化対応個別相談会	
平成 18年 2006年	4		サブスローガン「安全で安心して暮らせる街づくりを実現しよう！」 「守ろう！住環境維持のルールとペットマナー」	悠仁親王ご誕生 (9/6)
平成 19年 2007年	1	10	ノースプラザ (1 丁目集会所) 行政より貸与 記念音楽会実施 (1/22)	世界金融危機 (リーマンショック) H19～ 郵政民営化スタート (10/1)
	4	22	町議会議員選挙 野口克博氏当選	
	7		20 周年記念行事準備委員会発足	
平成 20年 2008年	10	11	「地域安全の活動推進」 知事賞を受賞 世帯数：1,306 戸	白岡町総合防災訓練 (2 月)
	6月～10月		20 周年記念行事開催 「植樹」「写真展」「夏祭り盆踊り大会」	
平成 21年 2009年	4		ホームページ開設	蓮田・白岡合併意向調査 68% 慎重反対 (4/7) 衆院選挙 民主党大勝 (8/30) 鳩山内閣発足
平成 22年 2010年	4	3	緑化規約一元化案説明会 7 月全戸配布 世帯数：1,319 戸	久喜市近隣町村と合併 (3/23)
平成 23年 2011年	3		CATV デジタル化完了 世帯数：1,336 戸	東日本大震災 (3/11) 死者・不明者約 2 万人 アナログテレビ放送終了 (7/24)
	4	24	町議会議員選挙 野口克博氏再選	
	7	10	AED 講習会始まる	
	10	1	認知症サポーター養成講座始まる	
平成 24年 2012年	11	11	東小学校下校時見守り隊結成	東京スカイツリー開業 (5/22) 白岡町、市制施行 (人口 5 万) 県内 40 番目 (10/1) 白岡、日本の良い街 / 県内 1 位・関東 10 位 民主党→自民党安倍内閣発足 (12/26)
	1	18	23 年度「環境保全功労賞」 環境大臣表彰 (地域環境美化の功績)	
	11	17	空き巣対策講習会 (2 回) 世帯数：1,342 戸	
平成 25年 2013年	8	31	九都県市総合防災訓練 (380 名参加)	JR「上野・東京ライン」 運行開始 (12/9)
平成 26年 2014年	6	1	白岡ニュータウン地区計画条例施行 世帯数：1,351 戸	消費税 8% 開始 (4/1)
	6	22	自主防災会を独立運営	
	11	29	振り込め詐欺対策講習会	
平成 27年 2015年	4		安心安全街づくり標語 「思いやり 手をかす力 地域の輪」	白岡高校野球部県大会準優勝 (7/28) 圏央道 (白岡菖蒲 IC) 開通 (10/31)
	4	26	市議会議員選挙 野口克博氏再選 大島勉氏当選	
	8	22	夏祭り盆踊り大会 白岡高校球児&しらお仮面招待	
	10	29	「悠友会」 全国老人クラブ連合会々長賞受賞 (活動推進に努力)	
平成 28年 2016年	2	2	白岡ニュータウン自主防災会「自主防災組織等知事表彰」 受賞	マイナンバー制度運用開始 (1/1)
	7	1	30 周年記念事業検討委員会発足 スローガン「世代超え 気持ち繋がる ふるさとへ」	
平成 29年 2017年	4		30 周年記念事業実行委員会発足	白岡市制施行 5 周年 (10/1)
	10	24	白岡ニュータウン グッドデザイン賞受賞 (地域開発) 世帯数：1,373 戸	
平成 30年 2018年	5		30 周年「記念誌」 発行 「記念式典」 開催 (5/20 白岡東小学校)	新元号発表予定
	11	11	30 周年記念「ふるさと祭り」 開催予定	

第3部 数字にみる新白岡

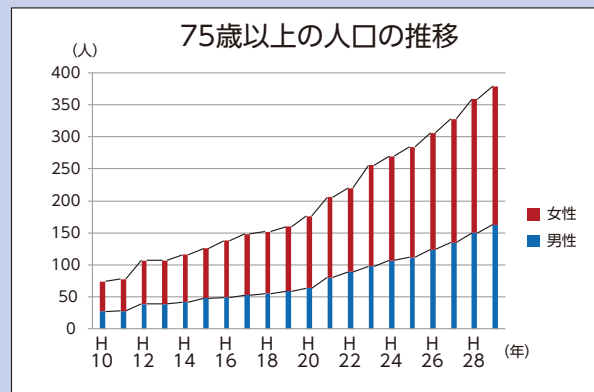
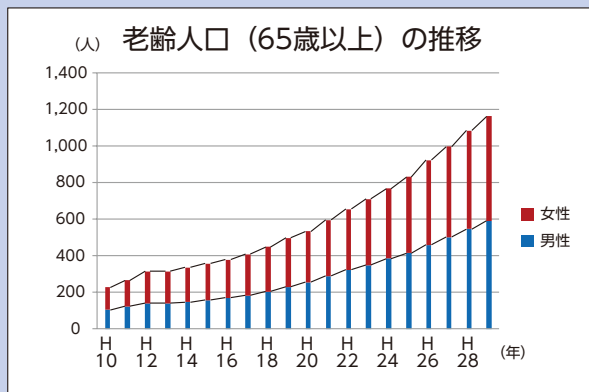
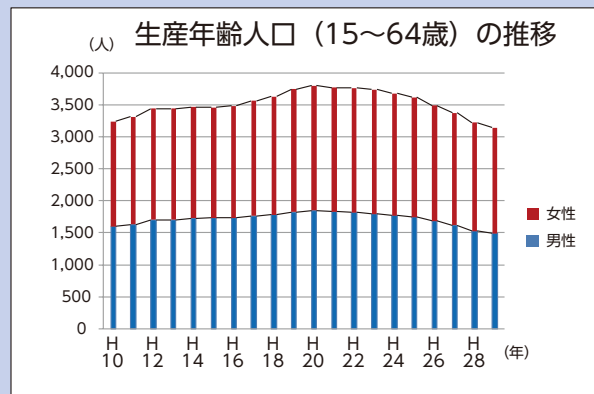
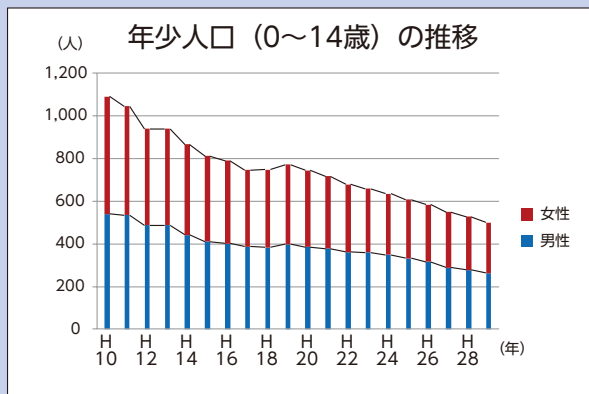
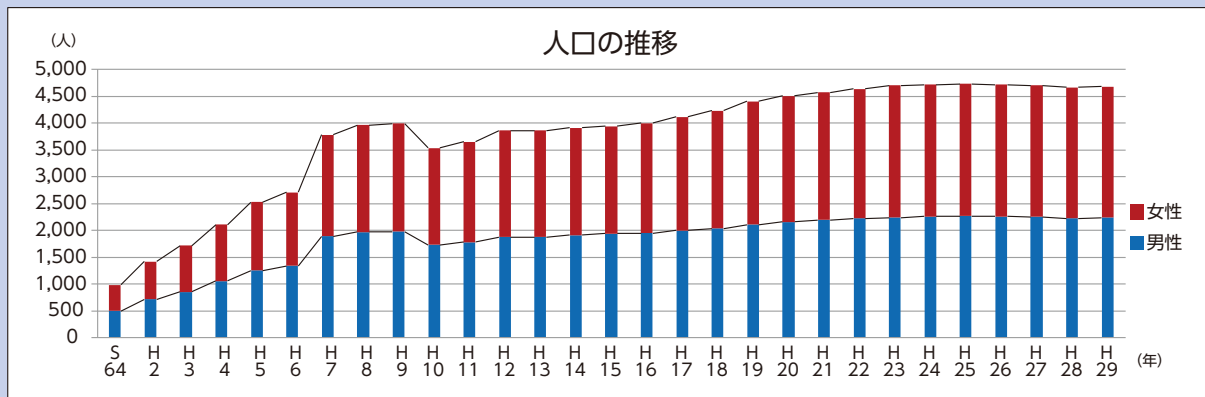
白岡市、JR東日本及び市教育委員会の資料。人口が2010年ごろから減少しているのに対し、新白岡駅を利用する乗降客数は増加しています。白岡ニュータウンを含め、新白岡駅利用が確実に増えています。



少子高齢化の波を感じるデータです。



白岡ニュータウンの人口と年齢層の推移



白岡ニュータウンの人口は平成 25 年の 4,732 人をピークとして、若干減少していますが、依然として 4,500 人が住んでいます。年少人口の減少、高齢者の増加、高

齢化の波が押し寄せています。

未来を担う子供たちの安全を大切にすると共に、今後高齢化社会に向けた取り組みが求められていくと感じます。

むすび 自治会創立30周年に寄せて

30周年記念事業実行委員会 委員長 村尾 斉一郎

白岡ニュータウン自治会員の皆様、創立 30 周年記念おめでとうございます。

さて、私事を少し述べさせていただきます。私は第 1 期 2,3 次募集に申し込みました。数日後の抽選日当日は会社に出勤していました。妻より会社に電話があり当選したことを知りました。入居は昭和 62 年 8 月末日となりました。通勤時は家を出て 1 分も歩くと新白岡の駅舎が見え、ただ壮大な空き地が広がっていました。また、帰宅時には田んぼのカエルの声に迎えてもらいながら帰ってきた事が、今ではるか昔になってしまいました。

入居以来 30 数年になりますがこのような立派な自治会組織になりましたのも白岡ニュータウンを愛する人々の努力の賜物です。県内のニュータウンにおいても珍しいほど、活動が盛んな自治会組織として、県知事賞や環境大臣賞などに輝きました。今後、皆様方の御支援を頂きながら発展していくことを望みます。十数年に渡り自治会役員として、また 30 周年実行委員会の委員長として、記念誌の発行が出来たことを光栄に思います。今後とも自治会の発展の為に微力ながら応援していきたいと思えます。

～ 編集後記 ～

白岡ニュータウン自治会創立 30 周年を迎えるにあたり、記念式典やイベントの一環として、この記念誌を発行いたしました。30 周年を迎えるにあたり、何か次の世代へ伝えられるものがないかと話し合いを重ねるなかで、構想が練りあがってきました。白岡ニュータウン設立時のことを覚えておられる方々の高齢化が進む一方で、新しく入居された若い世代が今後主流となっていく現状を踏まえると、記念誌を作成する良い機会だったと思えます。

記念誌を通じて伝えたいことがたくさんありましたが、出来る限り様々な世代の方が手に取って楽しんでいただけるよう、文章量を絞りつつ当時の貴重な写真などを活用して、担当の方々の工夫が凝らされた冊子になりました。今後、白岡ニュータウンが 50 年、100 年と歴史を重ねていく中で、当時を振り返る資料として活用されるのではないかと期待しています。

最後になりましたが、制作にあたってご協力下さった多くの関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。

実行委員 伊藤 祐介

.....

まずは、原稿、写真、絵を寄せてくださった方々に、心よりお礼申し上げます。

新しい出来事と引き換えに、遠い記憶が曖昧になる今、ふと立ち止まり、過去を振り返る作業は有意義なものでした。広大な敷地にわずか 40 戸の家、必ずや賑わうと信じて、この地に転居し、以来、この街の住人の温かい心遣いに幾度も助けられ、過ごしてきました。30 年は通過点、今後も会員の皆様のご協力のもと、さらなる魅力ある街に成長し続けることを願います。

実行委員 甘利 和代

30年記念誌がどれだけの人に見てもらえるか。30年前を振り返る思いは年代によって違う。老人は過去にむせぶ程の思いを持つだろうが若い人たちは現在進行中でそんな思いはないだろう。しかしやがてその世代の人が何十年後かにふっと過去に振り返った時この記念誌があったら、果たしてそれまで残されているか、多くの人の目に触れるように残すには「形」あるものにした方がよいだろう。本棚の片隅に残されていることを願う。

自治会 広報部長 柿沼 久雄

.....

昨年7月から記念誌作成に参加させていただきました。今年の春には印刷が開始していなければならないことを聞いて、「えっ？」とびっくり。時間も予算もない中、皆さんのお力をお借りして何とか仕上げることが出来ました。

個人的には記念誌の目玉は、航空写真だと思います。平成の写真は全て、市役所からお借りしました。白岡ニュータウンと新白岡駅を1枚にまとめるため、7～8枚の航空写真を繋げて編集しています。実は、この編集作業が記念誌の作成で一番苦労しました。

技術の進歩は凄まじく、最近の写真は電子化され、画像を繋げるとぴったり合致する編集技術である「オルソ補正※1」が精巧なので、編集作業に10分も掛かりませんでした。しかし、補正が施されていない古い写真は、端の方が少し歪んでいるため、道路や家がうまく繋がらず、何度も修正を掛けています。良く見ると明るさが違ったり、道路がずれたりしています……はい。平成2年の航空写真は20個くらいに分割した画像を重ねて張り合わせ、何時間も掛けて出来上がっているのです。完成した時は涙が出そうになりました……ホント。

兎にも角にも、常に応援し助けていただいた浅井会長・村尾副会長をはじめとして、印刷業者との調整や全体を取りまとめていただいた伊藤さん、写真やアンケート・原稿などを必死に集めていただいた甘利さん、年表を取りまとめていただいた柿沼さん、様々な知識と資料を惜しみなく提供していただいた総合地所の藤嶋所長、そして写真や原稿・絵を提供してくださった方々に深く感謝する共に、皆さんの白岡ニュータウンが益々暮らしやすく安全な街になるよう願っています。

※1：航空機や人工衛星等から撮影された空中写真を、正射投影によりその歪みを補正すること。

実行委員 藤田 大祐





白岡ニュータウン自治会創立30周年記念誌 平成30年(2018年)5月

発行……………白岡ニュータウン自治会
編集……………30周年記念事業実行委員会

〒349-0212
埼玉県白岡市新白岡2-17-14
TEL/FAX 0480-93-5133